

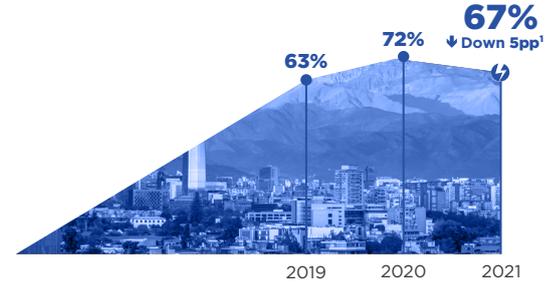
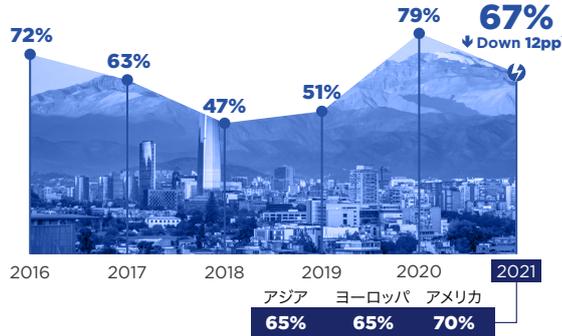
グローバル

日本

国内外出張者に対するリスクの変化

2021年において国内外出張者のリスクが増加したと回答した割合

2021年において国内外出張者のリスクが増加したと回答した割合



2022年において従業員の健康およびセキュリティリスクは“増加”または“変化しない”と回答した割合

	アジア	ヨーロッパ	アメリカ
“増加”または“変化しない”	59%	72%	62%
変化しない	29%	44%	38%
増加	30%	28%	24%

3分の2以上(68%)

の組織が、リスクは“増加”または“変化しない”と回答 (“増加”: 33% / “変化しない”: 35%)

	日本
“増加”または“変化しない”	66%
変化しない	34%
増加	32%

従業員を守るための課題

従業員の健康と安全確保における最大の課題は?



2021年において組織の生産性が減少した主な要因



2022年において組織の生産性が減少するであろう主な要因



Ipsos MORIが2021年9月から10月にかけて実施した組織における健康と安全、リスク軽減についての調査。様々な企業・団体組織の中で従業員の海外勤務や国内外出張、リスク軽減に関わり、影響を与える責任者や担当者を対象とした。グローバル調査結果は75ヵ国約1,000人からの回答を集計し、また日本の調査結果においては126人からの回答を集計した。

1: 2020年の調査とのパーセンテージポイントによる比較 2: 異常気象現象など